



年間事業報告書 2022 年度

ユースワーカー協議会

<https://youthworkercouncil.jimdofree.com/>



目次

I. 実施事業	3
1. ユースワークに関わるスタッフの実践交流の機会づくり	3
2. ユースワーカーの養成と育成	3
3. 前号における教材開発とトレーナー養成・派遣	4
4. ユースワークの基盤強化のための調査及び研究	4
5. ユースワーク・ユースワーカーに関する広報および社会的発信	4
II. 収支報告書	5
III. その他	6

1. 実施事業

ユースワーカー協議会規約第3条に基づき、下記の5事業を実施した。

1. ユースワークに関わるスタッフの実践交流の機会づくり

▶目的

ユースワークに関わるスタッフの実践交流によって、専門的力量的向上を図ること

▶実施内容

1 オンラインによる実践交流会を年間2回実施した。

- (1) 5/20 ユースセンターのあり方を模索する
- (2) 9/26 欧州のユースワーク

2 ユースワーカーフォーラムの開催

- (1) 2/12 (名古屋) 第2回ユースワーカーフォーラム テーマ=若者の参画

2. ユースワーカーの養成と育成

▶目的

ユースワーカーの養成と育成を図ること

▶実施内容

1 ユースワーカー養成講習会4回のほか、新規採用職員の合同育成の機会として年1回研修を実施した。

- (1) ユースワーカー養成講習会
 - ・主催：2/11・18 (名古屋)
 - ・協力：6/26・7/3 (尼崎)、9/3・4 (京都)、1/28・29 (神戸)

- (2) ユースワーカー新任者合同研修会
10/28 (オンライン) 10団体からの参加

3. 前号における教材開発とトレーナー養成・派遣

▶目的

ユースワークの実践の言語化を進めるための教材の開発と、トレーナーを養成し派遣する

▶実施内容

- 1 6/21（世田谷）職員研修への講師派遣
- 2 11/22（横浜）青少年理解の基礎研修
- 3 相互 SV 実施 前年度からの継続含め以下の5組で実施

テーマ
階層別・グループ SV 希望（管理職と部下の関係のあり方など）
階層別・グループ SV 希望（子育てワーカーの働き方、キャリアアップの考え方）
階層別・グループ SV 希望（中堅としてのキャリアや専門分野の持ち方など）
個別 SV（マッチング型）で2チーム実施。

4. ユースワークの基盤強化のための調査及び研究

▶目的

調査及び研究により、日本におけるユースワークの基盤強化を図ること

▶実施内容

- 1 子ども若者専門職養成研究「若者領域」への協力
 - ・9月札幌調査（いとこんち、キッチンカーの取り組みについて）
 - ・9月東北調査（仙台・郡山・白河）
 - ・10月岡山調査（奉還町 YC・備前市 YC）

5. ユースワーク・ユースワーカーに関する広報および社会的発信

▶目的

広報および社会的発信により、ユースワークの社会的認知を拡大していくこと

▶実施内容

- 1 年間を通じた事業周知とこども家庭庁設立に伴うヒアリングに協力をした
 - (1) ウェブサイト・FACEBOOK での事業周知、ユースワークに関する動向発信
 - (2) こども家庭庁設立に伴うヒアリング協力
 - ・ 11/8 こども家庭庁設立に伴う居場所に関するヒアリング
 - ・ 11/28 こどもまんなかプラットフォーム（オンライン：役員等参加）

II. 収支報告書

別紙決算書参照

Ⅲ. その他

会員数 = 43人

ユースワーカー協議会役員会実施状況

令和4年 7月10日	令和3年度事業報告、令和4年度事業計画など
令和4年12月27日	ユースワーカーフォーラム、こども家庭庁準備室からのヒアリングをうけて、養成講習、相互SV、

役員

役職	名前	所属
代表	水野 篤夫	(公益財団法人京都市ユースサービス協会)
事務局長	竹田 明子	公益財団法人京都市ユースサービス協会
事務局次長	東 晋次	公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会
	七澤 淳子	公益財団法人よこはまユース
	井上 敏明	名古屋ユースクエア共同事業体 (2023.03迄)
幹事 (理事)	松田 考	公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会
	大槻 繁美	公益財団法人よこはまユース
	辻 幸志	NPO法人こうべユースネット
	竹久 輝顕	京都市ユースサービス協会
監査	生田 周二	奈良教育大学 / 子ども若者支援専門職養成研究所

(役職内の順不同・敬称略)